

女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 1

(平成17年5月分)

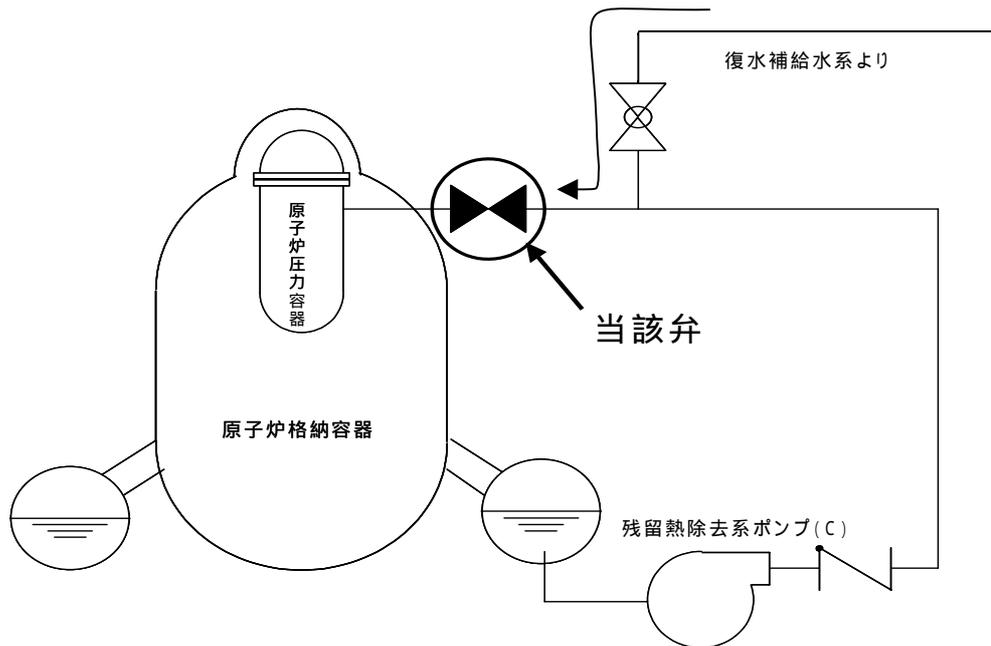
号機	2号機	定期検査	第7回定期検査
件名	原子炉格納容器全体漏えい率検査準備中における原子炉水位の上昇について		
月日	平成17年5月18日(水)	発生	発見 確認

場所	原子炉建屋	設備	原子炉格納容器	設備区分	安全上重要なシステム
----	-------	----	---------	------	------------

設備概要
 原子炉格納容器は、原子炉圧力容器等を格納する気密性の高い鋼鉄製の容器です。原子炉冷却材喪失事故等の発生時に、原子炉内の燃料破損による放射性物質の放散が生じた場合、これを閉じ込める役目を果たしています。

所見

- 定期事業者検査である「原子炉格納容器全体漏えい率検査」の受検前の準備作業として、格納容器の静定状態を確認していたところ、原子炉水位がわずかに上昇傾向を示していることを確認しました。(5月18日)
 調査の結果、閉状態の残留熱除去系の隔離弁を通じて補給水が原子炉内に流入していることを確認しました。
- 当該隔離弁の着座位置の調整を行った結果、補給水の流入が停止し、原子炉水位が静定したことを確認しました。その後、5月20日に「原子炉格納容器全体漏えい率検査」を受検しております。
- なお、漏えい率検査の結果は、平均漏えい率約0.04(%/日)と、格納容器が健全であることを確認しました。(5月20日)



系統概略図